

第1章 岩手の教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- ・ 学制150周年
- ・ 新たな学習指導要領の実施
- ・ 教育振興運動、いわて教育の日の取組
- ・ 諸調査の活用による組織的な授業力の向上
- ・ 県立博物館、美術館、図書館における学び
- ・ 文化、スポーツ分野での多くの子どもたちや本県出身者の活躍
- ・ 新たな世界遺産、ユネスコ無形文化遺産の登録

2 前計画期間の成果と課題

- ・ 岩手の産業等を担う人材の育成
- ・ ICTを効果的に活用した教育活動の充実
- ・ 多様な体験活動や文化芸術活動の充実
- ・ 運動に親しむ機会の確保等
- ・ 個々の教育的ニーズに対応した指導・支援体制の充実
- ・ 関係機関と連携した教育機会の確保
- ・ 社会情勢の変化に対応した教育環境の整備
- ・ 私立学校の教育の充実に向けた支援
- ・ 地域の実情に合わせた学校・家庭・地域の連携・協働の仕組みづくり
- ・ 家庭教育を支える環境づくり
- ・ 県民が学びたいときに学べる環境の充実
- ・ 文化財の適切な保存・継承と活用による地域活性化

3 社会状況の変化と今後の展望

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
- ② 少子化・人口減少と高齢化の進行
- ③ 社会全体のデジタル化の進展
- ④ グローバル化の進展と持続可能な社会づくり
- ⑤ 東日本大震災津波からの復旧・復興

いわて県民計画(2019～2028) 基本目標
「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」

新たな教育振興基本計画 コンセプト
・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

10の政策分野の取組方向

- (1)健康・余暇
～健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手～
- (2)家族・子育て
～家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手～
- (3)教育
～学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手～
- (7)歴史・文化
～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手～

子どもたち
夢・目標をかなえたい!

子どもたち
地域のことをもっと知りたい!

第2章 目標・取組の視点

基本目標(現計画を継承)
学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり
～ 自分らしい生き方の実現に向けた 新たな時代のいわての教育 ～

学校教育における目指す姿

岩手の子ども達が、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、予測困難な時代においても、希望あるいわてを創造する「生きる力」を身に付けている

社会教育・家庭教育における目指す姿

主体的・協働的な学びを通じて、地域や家庭におけるつながりや支え合いが生まれ、県民一人ひとりが、自分らしくいきいきと学び、暮らしている

取組の視点

- ① 一人ひとりの可能性を伸ばす学びの確保
- ② 郷土に誇りと愛着を持ち、岩手で世界で活躍する人材の育成
- ③ 岩手らしさを生かした生涯にわたる学びの充実
- ④ 教育分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤ 東日本大震災津波の経験や教訓を踏まえた学びの推進

今後の教育政策に関する基本的な方針

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

第3章

具体的な施策の内容

【学校教育】

- 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成
- 2 確かな学力の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 健やかな体の育成
- 5 特別支援教育の推進
- 6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
- 7 学びの基盤づくり
- 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

【社会教育・家庭教育】

- 9 学校と家庭・地域との協働の推進
- 10 子育て支援や家庭教育支援の充実
- 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり
- 12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

次期「岩手県教育振興計画(仮称)」の骨子

現計画 (R1～R5)
はじめに
第1章 岩手の教育をめぐる状況 1 岩手の教育の歩み 2 社会状況の変化 3 岩手県の教育の現状と課題
第2章 目標・取組の視点 1 目標 (1) 学校教育における目指す姿 (2) 社会教育・家庭教育における目指す姿 2 取組の視点 3 「いわて県民計画(2019～2028)」との柱立て項目の関係
第3章 具体的な施策の内容 【学校教育】 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成 2 確かな学力の育成 3 豊かな心の育成 4 健やかな体の育成 5 特別支援教育の推進 6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応 7 学びの基盤づくり 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進 【社会教育・家庭教育】 9 学校と家庭・地域との協働の推進 10 子育て支援や家庭教育支援の充実 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり 12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

次期計画 (R6～R10)
はじめに
第1章 岩手の教育をめぐる状況 1 岩手の教育の歩み 2 前計画期間中の成果と課題 3 社会状況の変化と今後の展望
第2章 目標・取組の視点 1 目標 (1) 学校教育における目指す姿 (2) 社会教育・家庭教育における目指す姿 2 取組の視点 3 「いわて県民計画(2019～2028)」との柱立て項目の関係
第3章 具体的な施策の内容 【学校教育】 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成 2 確かな学力の育成 3 豊かな心の育成 4 健やかな体の育成 5 特別支援教育の推進 6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進 7 学びの基盤づくり 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進 【社会教育・家庭教育】 9 学校と家庭・地域との協働の推進 10 子育て支援や家庭教育支援の充実 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり 12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

次期「岩手県教育振興計画（仮称）」の具体的な施策の内容

現計画（R1～R5）
<p>第3章 具体的な施策の内容</p> <p>【学校教育】</p> <p>1 岩手で、世界で活躍する人材の育成</p> <p>① 「いわての復興教育」の推進</p> <p>② 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進</p> <p>③ キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成</p> <p>④ 岩手と世界をつなぐ人材の育成</p> <p>⑤ イノベーションを創出する人材の育成</p> <p>2 確かな学力の育成</p> <p>① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成</p> <p>② 諸調査やICTの活用などによる児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実</p> <p>③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進</p> <p>3 豊かな心の育成</p> <p>① 自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成</p> <p>② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成</p> <p>③ 学校における文化芸術教育の推進</p> <p>④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成</p> <p>4 健やかな体の育成</p> <p>① 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実</p> <p>② 適切な部活動体制の推進</p> <p>③ 健康教育の充実</p> <p>5 特別支援教育の推進</p> <p>① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実</p> <p>② 特別支援教育の多様なニーズへの対応</p> <p>③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進</p> <p>6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応</p> <p>① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処</p> <p>② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進</p> <p>③ 児童生徒の健全育成に向けた対策の推進</p>

次期計画（R6～R10）
<p>第3章 具体的な施策の内容</p> <p>【学校教育】</p> <p>1 岩手で、世界で活躍する人材の育成</p> <p>① 「いわての復興教育」などの推進</p> <p>② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成</p> <p>③ 岩手と世界をつなぐ人材の育成</p> <p>④ イノベーションを創出する人材の育成</p> <p>2 確かな学力の育成</p> <p>① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成</p> <p>② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実</p> <p>③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進</p> <p>3 豊かな心の育成</p> <p>① 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成</p> <p>② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成</p> <p>③ 学校における文化芸術教育の推進</p> <p>④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成</p> <p>4 健やかな体の育成</p> <p>① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実</p> <p>② 適切な部活動体制の推進</p> <p>5 特別支援教育の推進</p> <p>① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実</p> <p>② 各校種における指導・支援の充実</p> <p>③ 教育環境の充実・県民理解の促進</p> <p>6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進</p> <p>① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処</p> <p>② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進</p> <p>③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進</p>

次期「岩手県教育振興計画（仮称）」の具体的な施策の内容

現計画（R1～R5）

第3章 具体的な施策の内容

【学校教育】

7 学びの基盤づくり

- ① 安心して学べる環境の整備
- ② 安全な学校施設の整備
- ③ 目標達成型の学校経営の推進
- ④ 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保

- ⑤ 魅力ある学校づくりの推進
- ⑥ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供
- ⑦ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

上

- ⑧ 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革

下

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

- ① 私立学校の特色ある学校教育の推進
- ② 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保
- ③ 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

【社会教育・家庭教育】

9 学校と家庭・地域との協働の推進

- ① 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり
- ② 豊かな体験活動の充実

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

- ① 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供
- ② 家庭教育を支える環境づくりの推進

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

- ① 多様な学習機会の充実
- ② 岩手ならではの学習機会の提供
- ③ 学びと活動の循環による地域の活性化
- ④ 社会教育の中核を担う人材の育成
- ⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

- ① 部活動や地域と連携した取組などを通じた郷土芸能の保存と継承
- ② 文化財の保存と継承

次期計画（R6～R10）

第3章 具体的な施策の内容

【学校教育】

7 学びの基盤づくり

- ① 安全・安心でより良い教育環境の整備

- ② 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保
- ③ 目標達成型の学校経営の推進
- ④ 魅力ある学校づくりの推進
- ⑤ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保
- ⑥ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

上

- ⑦ 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革

下

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

- ① 各私立学校の建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援

- ② 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

【社会教育・家庭教育】

9 学校と家庭・地域との協働の推進

- ① 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり
- ② 豊かな体験活動の充実

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

- ① 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供
- ② 家庭教育を支える環境づくりの推進

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

- ① 多様な学習機会の充実
- ② 岩手ならではの学習機会の提供
- ③ 学びと活動の循環による地域の活性化
- ④ 社会教育の中核を担う人材の育成
- ⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

- ① 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承
- ② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

いわて県民計画（2019～2028）と次期「岩手県教育振興計画（仮称）」との柱立て項目の関係

いわて県民計画（2019～2028）

幸福を守り、育てる10の政策分野

I	健康・余暇	健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
5 生涯を通じて学び続けられる場づくり		
II	家族・子育て	家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手
6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり		
7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育む仕組みづくり		
III	教育	学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
11 【知育】 児童生徒の確かな学力の育成		
12 【徳育】 児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成		
13 【体育】 児童生徒の健やかな体の育成		
14 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進		
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校づくり		
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質向上の推進		
17 多様なニーズに応じた特色ある私学教育の充実		
18 地域に貢献する人材の育成		
VII	歴史・文化	豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境づくり		

岩手県教育振興計画

学校教育と社会教育・家庭教育の2つの政策分野

II	社会教育・家庭教育
11 生涯にわたり学び続ける環境づくり	
10 子育て支援や家庭教育支援の充実	
9 学校と家庭・地域との協働の推進	
I	学校教育
2 確かな学力の育成	
3 豊かな心の育成	
4 健やかな体の育成	
5 特別支援教育の推進	
6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進	
7 学びの基盤づくり	
8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進	
1 岩手で、世界で活躍する人材の育成	
II	社会教育・家庭教育
12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承	

具体的な施策の内容

個別施策の現状と課題、取組の方向性

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

【現状と課題】

1 東日本大震災津波の記憶の風化の懸念

- ・東日本大震災津波の教訓や経験の継承が必要
- ・復興・発展を支える地域の担い手の育成の推進が必要

2 児童生徒の興味関心や適性に基づく進路実現

- ・学校全体で計画的・組織的にキャリア教育の推進が必要
- ・生徒が職業について知り、自らのライフデザインについて考える機会の充実が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 「いわての復興教育」などの推進

目指す姿

- ・児童生徒が復興教育の理念に基づく「いきる」「かかわる」「そなえる」という3つの教育的価値を身に付けている。
- ・東日本大震災津波の教訓等を後世に伝承している。

取組の方向性

- ・内陸部と沿岸部の学校間、小・中・高・特別支援学校の異校種間の交流、家庭・地域・関係機関と連携した「いわての復興教育」の取組の充実
- ・「いわての復興教育」プログラムや副読本、絵本の効果的な活用、「いわての復興教育」の実践発表会の開催など、県内全ての学校が教科横断的な復興教育の推進
- ・学校と地域が連携し、岩手の歴史や偉人、豊かな自然・文化等を探究する学習や、地域活動への積極的な参加を促し、地域産業を理解する取組や地域の課題解決を図る学習、伝統文化を継承する取組などの地域の担い手の育成の推進

2 キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

目指す姿

- ・キャリア教育が充実し、総合生活力や人生設計力の育成が図られている。
- ・各分野における専門知識や技術の習得・向上の充実が図られている。

取組の方向性

- ・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づくキャリア教育の推進
- ・社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等の実施
- ・就業支援員等を活用した生徒の適性を踏まえた就職指導や地元企業と連携した教育活動の充実
- ・企業見学会や企業ガイダンスの開催など県内の産業界等と連携強化

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

【現状と課題】

3 グローバル化の急速な進展
・児童生徒の英語力の向上を図る取組の推進が必要

4 デジタル人材等の育成

・IoTやAIなど最新のデジタル技術やデータを効果的に活用し、新たな価値の創造につなげることができる人材の養成が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 岩手と世界をつなぐ人材の育成

目指す姿

・世界や地域で活躍するグローバル人材、グローバル人材が育っている。

取組の方向性

・海外派遣等による国際交流の機会や県内に居住する外国人・留学生等との交流を深める体験機会の充実
・ALT等を活用した指導の充実やデジタル教科書等のICTの活用などによる児童生徒の学習意欲の向上
・英語担当教員の英語指導力向上に向けた実践的な研修をはじめとする各校種での教員研修の充実

4 イノベーションを創出する人材の育成

目指す姿

・岩手の産業や地域を支える人材、世界で活躍する人材など、優れた才能をもった児童生徒が育っている。

取組の方向性

・外部専門人材の活用による講演や研究事業等、理科・数学への関心や児童生徒の科学技術・ものづくりへの探究心を高める取組の推進
・産業界と連携し、課題解決能力と創造的な発想力を持ち、これからの技術革新や市場ニーズの変化に柔軟に対応できる人材の育成

2 確かな学力の育成

【現状と課題】

1 中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」

・目指すべき「令和の日本型学校教育」の姿＝「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」

2 学力向上に向けた取組の充実

・各学校が作成した「確かな学力育成プラン」に基づく学校の組織的な取組の充実が必要
・児童生徒の自主的かつ計画的な家庭学習の習慣化が必要

3 希望する進路の実現

・自ら課題を発見し解決に向けて取り組む学習の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

目指す姿

・岩手の子どもたちが、主体的に学び他者との協働により学びを深め新たな価値を創造し、地域を活性化する力が身に付いている。

取組の方向性

・児童生徒の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を確実に育成
・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善やカリキュラム・マネジメントの推進
・新聞・統計資料などを活用した学習や教科等横断的な学びによる課題発見・解決学習
・ICT支援員等の外部人材の活用などによるICTを活用した教員の指導力向上や研修の充実
・いわて幼児教育センターを中核とした幼児教育推進体制の強化、市町村幼児教育アドバイザーの配置・活用の促進
・小学校におけるスタートカリキュラムの充実、小学校及び中学校における学びの状況の共有、小中・中高の合同教員研修の充実
・ICTの効果的活用の実践に向けた県と市町村との連携によるGIGAスクール運営支援センター等による広域的な活用支援や、全県統一の統合型校務支援システムの導入等
・小規模校における遠隔授業の実施

2 確かな学力の育成

【現状と課題】

1 中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」

・目指すべき「令和の日本型学校教育」の姿＝「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」

2 学力向上に向けた取組の充実

・各学校が作成した「確かな学力育成プラン」に基づく学校の組織的な取組の充実が必要
・児童生徒の自主的かつ計画的な家庭学習の習慣化が必要

3 希望する進路の実現

・自ら課題を発見し解決に向けて取り組む学習の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

目指す姿

・学校、家庭、地域が連携・協働しながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られている。

取組の方向性

・調査の結果の効果的な活用、校種間連携の取組など、児童生徒の実態把握に基づいた授業改善
・自主的かつ計画的な家庭学習の充実
・少人数教育や学習習熟度などに応じた教育の推進

3 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

目指す姿

・多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実や産業界等との連携による専門的な知識・技術等の習得を進め、高校生の希望する進路が実現されている。

取組の方向性

・生徒の課題発見・解決能力の育成に向けた大学や地域等との連携による探究的な学習の推進
・多様な大学入試制度に対応した進学支援の充実や産業界等との連携による専門的な知識・技術等の習得
・探究的な学習をSTEAMの視点から深める取組の推進による理数分野への興味・関心のかん養、理系人材等の輩出の促進

3 豊かな心の育成

【現状と課題】

1 社会的包摂

・多様性と包摂性が重視される社会の中で、多様な価値観を認め合い、様々な人々と協働していく人間性や社会性の育成が重要

2 読書活動の充実

・岩手県の児童生徒の読書率が全国と比較して高い傾向
・さらに生涯にわたって読書に親しみ、楽しむ習慣につなげる必要

3 多様な体験活動の充実

・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校・家庭・地域が連携・協働した体験活動の機会が減少
・多様な体験活動の一層の充実が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成

目指す姿

・これからの社会における多様性や様々な課題等に対応した道徳教育及び人権教育が推進されている。
・家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、児童生徒に思いやりの心や感動する心が身に付いている。

取組の方向性

・多様な教育活動と関連付けたカリキュラム編成や教員の指導力向上に向けた教員研修、互いの人権や多様性を認め合う機会を重視した教育実践の普及等
・児童生徒の自殺を予防するための教員研修の充実や専門職による相談体制の整備
・道徳教育や特別活動などを活用した「命を大切にする教育」「SOSの出し方に関する教育」「心の健康の保持に係る教育」の充実
・教員が子どもの人権を尊重し多様性を包摂する視点を持ち、児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を推進

2 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

目指す姿

・生涯を通じて伝統文化や芸術に親しむことができる豊かな感性の育成が図られている。
・家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、児童生徒に思いやりの心や感動する心が身に付いている。

取組の方向性

・教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験・職場体験等への参加促進、放課後子供教室における学習・体験プログラムの実施等
・児童生徒が多くの本に触れ、読むことの楽しさを実感できる読書活動や、読書ボランティアと連携した読み聞かせ、学校司書の配置の拡充による学校図書館を生かした読書活動等の充実

3 豊かな心の育成

【現状と課題】

4 文化芸術活動の機会の減少

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化芸術の鑑賞及び体験の機会が減少
- ・文化芸術活動などの一層の充実が必要

5 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行

- ・地域の文化芸術環境の充実、地域クラブ活動の実施主体として想定される文化芸術団体等の整備、専門性や資質を有する指導者の確保等が必要

6 選挙権年齢や成年年齢の引下げ

- ・選挙権年齢や成年年齢が18歳となったこと等を踏まえ、より一層児童生徒が社会に主体的に参画しようとする態度の育成が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 学校における文化芸術教育の推進

目指す姿

- ・生涯を通じて伝統文化や芸術に親しむことができる豊かな感性の育成が図られている。

取組の方向性

- ・郷土の伝統文化の体験や継承活動に取り組む機会及び様々な文化芸術の鑑賞会等の機会の充実
- ・文化部の生徒を対象とした技能講習会など部活動を通じた取組の推進
- ・博物館や美術館、図書館等と連携した学校教育における文化芸術活動に関する講習会や発表の機会の支援
- ・合同部活動の導入や部活動指導員の適切な配置などによる学校部活動の質的向上等
- ・市町村の教育委員会や地域文化芸術団体などと連携した地域クラブ活動への移行に向けた取組の支援

4 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

目指す姿

- ・主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などが身に付いている。

取組の方向性

- ・関係機関と連携した探究的な学習や政治への参画意識を高める主権者教育の充実
- ・多様な契約・消費者保護の仕組みなどを理解する消費者教育の充実
- ・各教科の授業や特別活動等でのグループ活動や話合いの充実
- ・多様な教育活動を通して、児童生徒が主体的に挑戦し、多様な他者と協働して創意工夫する機会の充実

4 健やかな体の育成

【現状と課題】

1 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・運動時間の減少、肥満である児童生徒の増加、学習以外のスクリーンタイムの増加
- ・健康の保持・増進に向けた取組の推進が必要

2 子どもたちを取り巻く社会環境の変化

- ・啓発年齢層に応じた薬物乱用対策に係る効果的な啓発が必要
- ・児童生徒が性や性の多様性に関して適切に理解し、行動することができる必要がある

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実

目指す姿

- ・児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」を形成し、健康の保持増進が図られている。
- ・児童生徒に生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができる力が身に付いている。

取組の方向性

- ・「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」を一体的に関連付けた組織的な取組による児童生徒一人ひとりのよりよい生活の確立
- ・体力・運動能力調査結果を踏まえた地域ごとの取組の充実
- ・児童生徒が体力や技能の程度、年齢や性別及び障がいの有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有できる指導の充実
- ・食育推進の中核的な役割を担う栄養教諭をはじめとした教職員の児童生徒の食に関する自己管理能力育成に向けた指導力の向上
- ・児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるため生活の基盤である家庭への啓発
- ・家庭、地域、関係機関と連携した適切なスマートフォン等の利用に関する普及啓発
- ・生活習慣病や喫煙・飲酒を含めた薬物乱用等、健康に関する問題を防止するための講習会等の実施
- ・メンタルヘルスやアレルギー疾患等、多様化・深刻化する子どもの健康課題に関する学校、家庭、関係機関が連携した学校保健委員会での情報共有の一層の充実、養護教諭をはじめとした教職員の資質・能力向上
- ・児童生徒が成長過程において性に関する正しい知識を身に付け、自他共に尊重できる心を育成し行動できるよう、関係機関と連携した効果的な指導体制の構築

4 健やかな体の育成

【現状と課題】

3 適切な部活動体制の推進

- ・生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動の徹底が必要

- ・望ましい活動となるよう学校、保護者、外部指導者等の共通理解が必要

- ・部活動における暴力やハラスメントを許さない学校風土の醸成と教職員一人ひとりの体罰・ハラスメント防止に対する意識改革が必要

4 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行

- ・学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ環境の充実が必要

- ・地域クラブ活動の実施主体として想定されるスポーツ団体等の整備等が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 適切な部活動体制の推進

目指す姿

- ・生徒の自主的・自発的な参加等による適切な部活動が推進されている。

取組の方向性

- ・「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づく部活動休養日の設定や生徒のニーズを踏まえた適切な部活動の指導體制の推進

- ・体罰等の根絶を含めた部活動の方針等の共通理解を図る教職員や保護者、外部指導者等による部活動連絡会等の開催の推進

- ・部活動指導者による体罰・ハラスメントの根絶に向けた効果的・実践的な指導者研修の充実

- ・大会で勝つことのみを重視し、心身に過重な練習を強いることがないように、スポーツ医・科学の観点から踏まえた指導者研修等の充実

- ・合同部活動の導入や部活動指導員の適切な配置による学校部活動の質的向上

- ・市町村の教育委員会や総合型地域スポーツクラブ等の地域団体などと連携した地域クラブ活動への移行

- ・体育協会や種目別協会等との連携によるスポーツ特別強化指定校制度の推進

5 特別支援教育の推進

【現状と課題】

- 1 特別な支援を要する児童生徒の増加及びニーズの多様化
 - ・全ての学校における特別支援教育に係る支援体制の充実が必要
 - ・個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実が必要
 - ・特別支援学校のセンター的機能の更なる充実が必要
 - ・特別支援教育に対する地域等の支援体制の構築の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

目指す姿

- ・「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援が図られている。

取組の方向性

- ・「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づくサポート体制の充実
- ・引継ぎシートや就学支援ファイル等を活用した幼稚園・保育所等から小学校への適切な接続、進学時における学校種間の円滑な引継ぎ
- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な校内支援体制のもと、医療・福祉・労働などの関係機関とのネットワークの構築
- ・特別支援学校と企業との連携協議会などの連携の場の設置
- ・特別支援学校技能認定制度やいわて特別支援学校就労サポーター制度の活用

2 各校種における指導・支援の充実

目指す姿

- ・通級による指導や特別支援学級、特別支援学校での指導の充実などにより、一人ひとりの教育的ニーズに対応するとともに、教職員の専門性の向上が図られている。

取組の方向性

- ・交流籍を活用した特別支援学校と小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習
- ・通級による指導における特別な支援を必要とする児童生徒の支援
- ・地域における特別支援教育のセンター的機能を有する特別支援学校による各学校に対する適切な助言や援助
- ・長期入院を必要とする児童生徒の学習を保障するため、小・中・高等学校と特別支援学校との連携や各学校と医療機関との連携強化
- ・全ての教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る研修の充実
- ・特別支援学校や特別支援学級におけるAT やICT機器の更なる活用

5 特別支援教育の推進

【現状と課題】

- 1 特別な支援を要する児童生徒の増加及びニーズの多様化
 - ・全ての学校における特別支援教育に係る支援体制の充実が必要
 - ・個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実が必要
 - ・特別支援学校のセンター的機能の更なる充実が必要
 - ・特別支援教育に対する地域等の支援体制の構築の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 教育環境の充実・県民理解の促進

目指す姿

- ・共生社会の形成に向け、県民向け公開講座の実施や特別支援教育サポーターの養成など、県民と協働した特別支援教育の体制づくりの推進が図られている。

取組の方向性

- ・「共に学び、共に育つ教育」の推進や障がいに関する正しい知識の普及を進めるための県民向け公開講座の実施
- ・授業の補助や学校生活の支援を行う特別支援教育サポーターの養成
- ・医療、福祉、心理等の専門家を活用した指導・支援の充実
- ・学校への医療的ケア看護職員の適切な配置、医療的ケア看護職員を対象とした研修の実施
- ・岩手県立特別支援学校整備計画に基づく教育環境整備

6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進

【現状と課題】

- 1 いじめの認知件数の増加
 - ・学校におけるいじめ防止対策の取組の推進が必要
- 2 不登校児童生徒数の増加
 - ・全国と同様に不登校児童生徒数が増加傾向
 - ・不登校の未然防止、早期発見・適切な対応の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応

目指す姿

- ・「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応が図られている。

取組の方向性

- ・「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づく取組の徹底
- ・いじめについて考える話し合いの機会など児童生徒による主体的な活動の促進
- ・思いやりの心と社会性を育成する道徳教育や人権教育の充実
- ・いじめの積極的な認知やいじめが生じた際の迅速な対応のための児童生徒に対する定期的なアンケート調査や個人面談の実施の徹底
- ・「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」の配置
- ・「いわて「いじめ問題」防止・対応マニュアル」を活用した研修の実施

2 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

目指す姿

- ・ICTを活用した教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策が図られている。

取組の方向性

- ・学校心理士の資格を持つ教育相談コーディネーターの養成、教員研修の実施
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、24時間子供SOSダイヤル相談員等の配置
- ・教育支援センター、フリースクール等民間団体等の様々な関係機関と連携したICTを活用した学習支援、不登校児童生徒の社会的自立への支援
- ・校内の別室を活用した「校内教育支援センター」の体制整備の支援
- ・一人一台端末等を利用した教育相談「こころの相談室」による支援

6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進

【現状と課題】

- 3 スマートフォンなどの情報端末の利用時間の増加
- ・SNS上での誹謗中傷などのいじめやネット犯罪等に巻き込まれる危険が深刻化
 - ・情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動等の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

目指す姿

- ・情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付いている。

取組の方向性

- ・児童生徒の情報モラルの啓発、教員研修の実施等、情報モラル教育の推進
- ・保護者や地域、関係団体等と連携したスマートフォンなどの情報端末のフィルタリングやインターネット利用のルールに関する普及啓発活動の推進

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

1 児童生徒の安全確保

- ・全国における通学・通園時の事件・事故の発生
- ・学校・家庭・地域や関係機関との連携による児童生徒の安全確保の強化が必要

2 学校施設の機能の向上

- ・学校施設の老朽化や新たな教育ニーズへの対応・安全な教育環境の整備と、学校施設の機能の向上が必要

3 人口減少下における教育環境の整備

- ・児童生徒の減少を背景に学校の小規模化や統廃合が進行
- ・児童生徒を取り巻く環境や社会の変化に対応する教育環境の整備が必要
- ・コミュニティ・スクールを計画的に導入し、保護者や地域の評価も取り入れた目標達成型の学校経営が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 安全・安心でより良い教育環境の整備

目指す姿

- ・学校・家庭・地域や関係機関との連携による見守り活動や交通安全教室等の安全教育の推進により、通学時の児童生徒の安全が確保されている。
- ・学校施設の老朽化の進行や新たな教育ニーズへの対応などを踏まえ、計画的に学校の施設や設備の充実が図られている。

取組の方向性

- ・自然災害の多発など学校を取り巻く環境変化を踏まえた学校の安全計画や危機管理マニュアルの検証・改善
- ・学校安全計画に基づく事故等の未然防止策等の徹底に向けた教職員への研修、訓練の実施
- ・保護者、地域住民、関係機関の協力によるスクールガード等による通学時の見守りや通学路の定期的な点検の実施、交通安全教室や防犯教室の実施
- ・東日本大震災津波の経験・教訓を踏まえた特色ある防災教育
- ・計画的な学校施設等の長寿命化等の推進
- ・施設の木質化、省エネルギー化等脱炭素化への取組の推進、市町村、民間との共創による施設整備
- ・防災機能の強化、トイレの洋式化など新たなニーズ等に対応した学習環境の改善
- ・「生徒の希望する進路の実現」と「地域や地域産業を担う人づくり」の考え方を基本とする「新たな県立高等学校再編計画後期計画」に基づく教育環境の充実
- ・次期県立高等学校再編計画の策定に向けた検討

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

3 人口減少下における教育環境の整備(再掲)

- ・児童生徒の減少を背景に学校の小規模化や統廃合が進行
- ・児童生徒を取り巻く環境や社会の変化に対応する教育環境の整備が必要
- ・コミュニティ・スクールを計画的に導入し、保護者や地域の評価も取り入れた目標達成型の学校経営が必要

4 子どもの教育のための経済的支援

- ・世帯類型に関わらず、子どもの教育のための経済的支援に対する保護者のニーズが高い
- ・母子家庭や就学援助世帯の保護者への子どもの教育を経済的に支援する制度の周知が不十分

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

2 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保

目指す姿

- ・就学に関する様々な支援制度により、家庭の経済状況など生まれ育った環境に左右されず、全ての児童生徒が安心して学ぶことのできる教育機会が確保されている。

取組の方向性

- ・小・中学校等における学用品の支援を行う就学援助、授業料の支援を行う高等学校等就学支援金、授業料以外の教育費の支援を行う奨学給付金の給付などの周知と適切な運用

3 目標達成型の学校経営の推進

目指す姿

- ・スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組の充実が図られている。

取組の方向性

- ・「まなびフェスト」や学校、家庭、地域が連携したコミュニティ・スクールの仕組みの活用による地域とともにある学校づくりの推進
- ・学校経営計画で設定した目標の達成状況等の評価結果の公表などの学校運営の改善の推進

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

3 人口減少下における教育環境の整備(再掲)

- ・児童生徒の減少を背景に学校の小規模化や統廃合が進行
- ・児童生徒を取り巻く環境や社会の変化に対応する教育環境の整備が必要
- ・コミュニティ・スクールを計画的に導入し、保護者や地域の評価も取り入れた目標達成型の学校経営が必要

5 多様な教育ニーズへの対応

- ・不登校児童生徒の増加
- ・外国人の児童生徒の増加
- ・特別な支援を要する生徒の増加
- ・多様な教育ニーズに対応する指導・支援、教育機会の提供、学びの場を確保が必要
- ・多様な教育ニーズへの相談体制の充実が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

4 魅力ある学校づくりの推進

目指す姿

- ・スクール・ポリシーに基づく特色ある教育活動の充実、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域との連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクールの取組の充実が図られている。

取組の方向性

- ・学校と地元自治体や企業、高等教育機関等との連携・協働を進める場であるコンソーシアムの活用
- ・地域等と協働して策定したスクール・ポリシーに基づく教育活動の充実

5 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保

目指す姿

- ・学校に通学することが困難な児童生徒や、増加が見込まれる外国人児童生徒等の学びの場など、多様なニーズに対応した教育機会が提供されている。

取組の方向性

- ・教育支援センターやフリースクール等民間団体との連携による不登校児童生徒への教育機会の確保
- ・関係機関と連携した外国人の児童生徒などの学びの場の確保
- ・ヤングケアラーや子どもの貧困、高校中途退学等への対応
- ・関係機関との連携を図りながら特別な支援を必要とする幼児児童生徒の学習環境を整備、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の推進

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

6 教員採用試験志願者の確保

・全国的な教員採用試験志願者の減少の中で本県の採用試験志願者の確保が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

6 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

目指す姿

・教員採用試験の見直しや、必要な学びを主体的に行っていくことができる仕組みを構築し、教育への情熱と高い志を持つ有為な教員の確保と資質の向上が図られている。

取組の方向性

- ・学生等への説明会等、求める教員像や教員の魅力について発信
- ・社会情勢の変化等に応じた教員採用試験の内容等を見直し、体系的な研修の実施
- ・教員免許更新講習に代わる新たな研修制度の実施
- ・「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、研修履歴を活用した管理職等との対話による教員が自らが必要な学びを主体的に行う仕組みの構築
- ・先進的な研究や実践の成果の発信、多様な研修による教員の支援、研修履歴の記録の在り方の検討等、総合教育センター機能の充実
- ・教職大学院等関係機関との連携による有為な教員の育成

7 学びの基盤づくり

【現状と課題】

7 学校における働き方改革

- ・全国的に教職員の長時間勤務による負担が増加
- ・早急な「学校における働き方改革」の推進が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

7 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革

目指す姿

- ・管理職の適切なマネジメントやICTの活用などにより、教職員の勤務負担が軽減している。
- ・勤務環境の改善により、教職員の業務への充実感や健康面での安心感が向上し、心身共に健康で、意欲を持って子どもたちに向き合っている。

取組の方向性

- ・「統合型校務支援システム」の全県導入
- ・市町村立学校教職員の働き方改革を推進するための市町村教育委員会における働き方改革プランの策定の支援
- ・引き続き小・中学校全学年での少人数学級等の実施や、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフ等の配置による「チームとしての学校」の構築
- ・公立中学校や県立高等学校への部活動指導員の配置
- ・「岩手県における部活動の在り方に関する方針」に基づく部活動休養日及び活動時間の基準の徹底
- ・タイムカードによる客観的な勤務時間把握や、盆・年末年始等の学校閉庁日の設定、留守番電話等による時間外対応の体制整備など教職員の勤務時間の適正化
- ・小・中学校等を対象とした労働安全衛生管理研修会の開催
- ・長時間勤務者への産業医による保健指導、専門医によるメンタルヘルス相談窓口の設置等の心とからだの健康対策

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

【現状と課題】

1 私立学校に対する期待の高まり

・教育活動の充実に向けた支援が必要

・キャリア教育等により、卒業後の進路の選択肢を拡大して岩手の産業や地域を支える人材の地元定着の促進が必要

2 校舎等の耐震化等

・校舎等の耐震化などが全国平均や公立学校に比較して進んでいない状況

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 各私立学校の建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援

目指す姿

・私立学校の建学の精神などに基づく多様な教育ニーズに対応した特色ある教育活動が充実している。

取組の方向性

・私立学校運営費補助等による各私立学校の建学の精神や中期計画に基づく特色ある教育活動の充実

・質の高い教育を行う私立専修学校への支援による岩手の産業や地域を支える人材定着の促進

2 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

目指す姿

・幼児・児童・生徒が良好な教育環境で安全に学校生活を送ることができる。

取組の方向性

・私立学校耐震改修事業費補助等による施設の耐震化、安全安心な教育環境の整備を促進

・私立学校運営費補助等による教育の質の向上に向けた良好な教育環境の整備の促進

9 学校と家庭・地域との協働の推進

【現状と課題】

1 学校・家庭・地域の一層の連携・協働

・人口減少の進行や新型コロナウイルス感染症の影響等により、地域によっては、学校支援活動や公民館活動・子供会行事等の継続が困難な状況

・学校・家庭・地域が一層の連携・協働を図り、子どもの学びや育ちを支える仕組みづくりの推進が必要

2 学習機会や体験活動の機会の拡充

・家庭での学習が困難な子どもたちや、多様な体験を望む子どもたちに対して、より一層の支援が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

目指す姿

・「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の両面から、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの学びや育ちを支える持続的な取組が展開されている。

取組の方向性

・コミュニティ・スクールとの連携による、教育振興運動や地域学校協働活動の充実
・市町村における地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置の支援

2 豊かな体験活動の充実

目指す姿

・地域の実情に応じた子どもの学びの場が整備され、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行う機会の拡充が図られている。

取組の方向性

・日常的に児童生徒が利用する放課後子供教室や放課後児童クラブ等による居場所づくり
・地域学校協働活動等による多様な体験活動の実施
・青少年の家や野外活動センターなどの社会教育施設における、周辺の自然を生かした体験活動等の充実
・従来の実体験プログラムとオンラインプログラムを組み合わせた放課後子供教室の特色ある事例の市町村等への情報提供

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

【現状と課題】

1 核家族化の進展

- ・子育てや家庭教育についての「知恵」や「経験」の継承が不十分
- ・悩みや不安を抱える保護者の増加
- ・家庭や地域の子育て力の低下傾向
- ・子育てや家庭教育を支える環境づくりを推進し、保護者等を支援する取組が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供

目指す姿

- ・子育てや家庭教育に取り組む保護者の多様なニーズに応じた学びの機会が提供されることにより、安心して子どもを生み育てていくことができる家庭環境が整っている。

取組の方向性

- ・子育てや家庭教育に関する保護者の学習活動を促進するため、県民への学習情報や学習資料の提供
- ・子育てに不安や悩みを抱える保護者に対する相談体制の充実
- ・教育振興運動と連携した自然体験・奉仕体験等への参加促進等、学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動の推進

2 家庭教育を支える環境づくりの推進

目指す姿

- ・子育てサポーター等による保護者への子育て支援活動が充実し、地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整っている。

取組の方向性

- ・電話やメールによる相談窓口の周知と利用促進
- ・すこやかメールマガジン等による家庭教育に役立つ情報などの提供や教育に関する意識啓発
- ・子育てサポーター等の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等の実施

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

1 県民の学習機会の充実

・生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数が増加

・スマートフォンの普及等による余暇活動の多様化

・ICTの活用など県民の学びの形の変化に対応した取組の推進が必要

・生涯を通じて楽しく学ぶ基盤となる幼少年期や中高生の読書活動の推進が必要

2 社会教育施設等における学習機会の充実

・県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした歴史や文化等を中心とした講座に多くの参加者が来館

・県民の学びのニーズに対応する社会教育施設等における学習機会の充実やコンテンツの多様化が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 多様な学習機会の充実

目指す姿

・生涯を通じて楽しく学び、その学びがコミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に活用され、生きがいを感じながら、県民一人ひとりが地域の一員として活躍している。

取組の方向性

・県立生涯学習推進センター等によるICTを活用した学びの機会や活躍の場等に関する情報の集積・提供、オンライン学習等学びの継続を支える仕組みや魅力づくり

・関係機関との連携による障がい者の生涯を通じた学習活動の推進

・障がいの理解や心のバリアフリーを推進するための研修会の実施

・特別な事情により就学困難な生徒等の個別の学習ニーズに応じた学習相談や情報提供

・図書館における資料・情報の収集・活用の促進、利用者の学習活動を支えるレファレンス業務の充実

・子どもの読書への関心を高める読み聞かせや読書会など、幼少年期や中高生の読書活動の推進

2 岩手ならではの学習機会の提供

目指す姿

・岩手が誇る自然、文化、歴史など、あらゆる資源を学びの対象や場としながら、岩手ならではの学びを深め、県民一人ひとりが郷土に対する誇りや愛着をもって生活している。

取組の方向性

・社会教育施設等における豊かな自然、文化、歴史等の資源をテーマとした公開講座を開催等、岩手ならではの学習機会の提供

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

3 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・県民一人ひとりが学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の機会が減少
- ・学びと活動の循環の推進が必要

4 社会教育関係者の資質向上

- ・情報リテラシーを高める取組など、県民の生涯を通じた学習活動を支援するための新たな取組が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

3 学びと活動の循環による地域の活性化

目指す姿

- ・全国に誇る岩手県独自の運動である教育振興運動と地域学校協働活動が総合的かつ一体的に取り組み、学校を核とした地域づくりが進められている。

取組の方向性

- ・コミュニティ・スクールの導入・充実と教育振興運動や地域学校協働活動への参加促進
- ・PTAをはじめとする各種社会教育関係団体の活動の支援、団体相互の連携・協力に向けた交流の機会の提供
- ・県立生涯学習推進センターを活用した教育分野の枠を越えた地域づくりに関する研修・交流の場の提供

4 社会教育の中核を担う人材の育成

目指す姿

- ・地域における多様な学びを支援することのできる人的体制が整い、指導者相互のネットワーク化が図られている。

取組の方向性

- ・社会教育指導員や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員などを対象としたICT機器の操作・利用等に関する研修会の開催
- ・研修会での交流などを通じた指導者相互のネットワーク化

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

【現状と課題】

5 社会教育施設等における学習機会の充実(再掲)

- ・県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした歴史や文化等を中心とした講座に多くの参加者が来館
- ・県民の学びのニーズに対応する社会教育施設等における学習機会の充実やコンテンツの多様化が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

5 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

目指す姿

- ・地域の様々な世代が学びたい時に共に学び合うことのできる場として、社会教育施設の活用が図られている。

取組の方向性

- ・博物館等の県立社会教育施設における利便性の向上やデジタルコンテンツの充実、幅広い学びのニーズに応じた学習機会を提供する拠点づくり
- ・市町村が設置する公民館等の学びの拠点の発展に資するニーズに応じた事業支援や優れた活動の周知・交流
- ・社会教育施設の計画的な老朽化対策による維持保全、施設の整備方針の検討
- ・多様なニーズに応じた学習方法に対応したICT環境の整備

12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

【現状と課題】

1 世界に誇る文化遺産

- ・一戸町の御所野遺跡などの「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録(令和3年7月)
- ・盛岡市の「永井の大念仏剣舞」や北上市及び奥州市の「鬼剣舞」を含む「風流踊」がユネスコの無形文化遺産に登録(令和4年11月)

2 伝統文化の継承

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で民俗芸能の発表の機会が減少
- ・少子高齢化等による民俗芸能などの地域の文化を継承する人材の減少、文化芸術活動の担い手の高齢化

3 文化財の活用

- ・地域活性化の取組の核となる地域資源としての文化財の次世代への確実な保存・継承と積極的な活用が必要

【目指す姿と目指す姿を実現するための取組の方向性】

1 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承

目指す姿

- ・児童生徒の部活動などを通じた活動により、民俗芸能等の保存・継承が促進されている。

取組の方向性

- ・民俗芸能などの伝統文化の体験や継承活動に取り組む機会及び様々な文化芸術の鑑賞会等の機会の充実
- ・文化部の生徒を対象とした技能講習会など部活動を通じた取組の推進
- ・将来の民俗芸能の担い手の育成するため、児童生徒の部活動などを通じた取組の推進及び地域等と連携した指導環境の充実

2 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

目指す姿

- ・県の大綱と市町村の文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・継承と活用が推進され、新たな文化の創造に向けた取組が行われている。

取組の方向性

- ・岩手県文化財保存活用大綱を踏まえた市町村の文化財保存活用地域計画の作成に係る情報提供や助言
- ・現地調査等による文化財保護の取組の推進
- ・指定文化財の所有者に対する適切な保存管理に関する指導・助言、修理等の支援
- ・柳之御所遺跡の発掘調査や平泉文化研究で得られた成果に基づく、県立柳之御所史跡公園の整備

I 現計画期間(R1~R5)の主なトピックス

年度	学校教育	社会教育・家庭教育	国等の動き
R1	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級(35人学級)を小中学校の全学年で実施 ・県立盛岡ひがし支援学校開校(H31.4) ・県立高田高校グラウンドの復旧をもって公立学校の災害復旧完了(R2.3) ・「いわてキャリア教育指針」改訂(R2.3) 		
R2	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の魅力化の取組開始(R4~全県展開) ・岩手県学校教育ICT推進協議会設置(R2.11) ・有識者会議提言「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」(R3.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興運動55周年 ・岩手県立博物館開館40周年 ・岩手県立美術館開館20周年 ・県立高校にコミュニティ・スクール導入開始 ・「岩手県文化財保存活用大綱」策定(R3.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習指導要領の順次全面実施(R2:小、R3:中、R4~:高) ・中教審答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」(R3.1)
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行に向けた実証研究開始 ・県立学校における遠隔授業の実証事業開始 ・いわての復興教育を就学前教育に拡充 ・「新たな県立高等学校再編計画後期計画」策定(R3.5) ・「岩手県立特別支援学校整備計画」策定(R3.5) ・「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031」策定(R3.10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立野外活動センター移転復旧(R3.7) ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録(R3.7) ・県立平泉世界遺産ガイドンスセンター開所(R3.11) ・陸前高田市立博物館の復旧をもって公立社会教育施設等の災害復旧完了(R3.10) 	
R4	<ul style="list-style-type: none"> ・各県立高校においてスクール・ポリシー策定 ・いわて幼児教育センター開所(R4.4) ・県立釜石祥雲支援学校新校舎移転(R4.8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館創立100周年 ・「風流踊」ユネスコの無形文化遺産登録(R4.11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・免許更新制の発展的解消 ・生徒指導提要改訂(R4.12) ・中教審答申『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」(R4.12)
R5			<ul style="list-style-type: none"> ・第4次教育振興基本計画策定(R5.6)

本県児童生徒の様々な分野での活躍／本県出身者の世界・全国での活躍

GIGAスクール構想の加速(ICT機器の整備)

熱中症／新型コロナウイルス対策としてのエアコン整備

新型コロナウイルス感染症拡大防止と教育活動の両立のための取組の推進

II 新型コロナウイルス感染症の影響

1 新型コロナウイルス感染症の感染状況

(1) 感染者数

区分	感染者数
全国(R5.5.8 0時時点)※1	33,802,739人
岩手県(R5.5.8発表)※2	238,087人
うち公立学校児童生徒※3	43,284人
うち公立学校教職員等※3	3,750人

(2) 臨時休業措置等実施数※3

クラスター発生件数	237件
臨時休業措置等実施数	
臨時休業	184校(238回)
学年閉鎖	246校(365回)
学級閉鎖	235校(718回)

※1 出典：新型コロナウイルス感染症の現在の状況について（令和5年5月8日版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32969.html

※2 新型コロナウイルス感染症患者に関する情報（令和5年4月1日～5月7日発表分）
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyo/iryou/covid19/1050899/1061820.html>

※3 R5.5.8発表時点まで 岩手県教育委員会事務局調べ

2 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 対策本部の設置

- ・ R2.2.26日 岩手県教育委員会新型コロナウイルス対策本部設置(R5.5.8廃止まで本部員会議を72回開催)
- ・ 県教委独自の支援体制の強化：学校支援(R4.1.29～)、盛岡市保健所支援(R4.2.15～)

(2) 臨時休業等

時期	県立学校	県立社会教育施設
令和2年3月 国からの要請等	令和2年3月2日～春季休業に入るまでの間 ・基本的に一斉休業	令和2年3月3日～3月31日 ・学校の一斉臨時休業を踏まえ、青少年の家の利用者受入を休止 (・図書館、博物館、美術館はイベントの中止・延期等)
令和2年大型連休 (ゴールデンウィーク)期間 国の緊急事態宣言等	令和2年4月29日～5月6日 ・児童生徒等の健康を確保しつつ、教育活動に与える影響を最小限にとどめ、大型連休期間中における人の移動を最小限にすることによる地域全体での感染防止を図る観点で、基本的に臨時休業	令和2年4月25日～5月6日 ・博物館、美術館及び青少年の家は、休館・休所 ・図書館は、開館継続(カウンターでの図書の貸出、返却のみ)
令和3年8～9月 新型コロナウイルス感染症「岩手緊急事態宣言」	(・夏季休業中の部活動を原則休止)	令和3年8月16日～9月17日(青少年の家、野外活動センターは9月20日まで) ・博物館、美術館、青少年の家及び野外活動センターは休館・休所 ・図書館は、開館継続(カウンターでの図書の貸出、返却のみ)

II 新型コロナウイルス感染症の影響

2 新型コロナウイルス感染症への対応

(2) 感染拡大防止対策

R3.12版

学校現場における新型コロナウイルス感染症対策等について

岩手県教育委員会

基本的な考え方

- ・ 岩手県教育委員会においては、新型コロナウイルス感染症の発生及びその感染拡大を可能な限り抑制し、児童生徒の健康、安全の確保を図ること及び教育活動に与える影響を最小限にとどめるため、以下に掲げる様々な対策や対応に取り組んでいます。
- ・ 教育活動を進めるに当たっては、新学習指導要領のポイントである、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育成します。
- ・ 東日本大震災津波で学んだ教訓を踏まえた「いわての復興教育」の考えを生かしながら、新型コロナウイルス感染症というこれまでに経験したことのない状況にも対応した取組を進めています。
- ・ 引き続き、児童生徒・保護者の理解と協力をいただきながら、新型コロナウイルス感染症対策等を実施し、児童生徒の健康、安全が守られるよう取り組んでいきます。

「学校の新しい生活様式」に対応した取組状況等

○ 1～3の対策や対応は、各学校の実情に応じ、工夫して行われています。変異株の対策としても、基本的な感染症対策を徹底していきます。

1 感染拡大防止対策

(1) 基本的事項

- ・ 咳エチケット(常時マスクの着用等)や手洗いなどの感染症予防対策について、児童生徒への徹底した指導
- ・ 学校における児童生徒の丁寧な健康観察

(2) 通学時

- ・ 家庭と連携した体温測定や風邪症状等の確認
- ・ 特別支援学校における「3つの密」対策を講じた通学用バスの運行

(3) 授業時

- ・ 教室内の座席間隔をあげ、児童生徒同士の距離の確保
- ・ 対面を避けた机の配置
- ・ 式典や全校集会活動を控え、校内放送の活用や時間の短縮
- ・ 冬季でも可能な限り常時換気(難しい場合は30分に1回以上、少なくとも休み時間ごと換気)
- ・ 常時換気と組み合わせた常時エアコン等による送風
- ・ 近距離での活動や向かい合っでの発声等が必要な授業等における指導計画や指導方法の見直し
- ・ 教材や教具を共有で使用する場合の使用前後の手洗いの徹底

(4) 給食時

- ・ 給食時はグループ形態にせず、一定の机の間隔を保持した状態での食事、飛沫を飛ばさないような席の配置
- ・ 給食時の会話は回避、食後の教談時のマスクの着用
- ・ 特別支援学校における学部ごとに分けた時差給食

(5) 休み時間

- ・ トイレ休憩の混雑の緩和

(6) 環境整備

- ・ ドアノブ、階段の手すりなど多数の児童生徒が触れる場所(箇所)の水拭きと消毒

(7) その他

- ・ ホームページや一斉送信メールを活用する等、児童生徒及び保護者への連絡体制の確立
- ・ 不特定多数との接触を減らすための校外活動の見学先・宿泊・食事場所等の変更
- ・ 各種学校行事の開催時の工夫
- ・ 寮においても、対面を避けるなどの食事時の座席配置など感染防止の徹底

2 部活動における対応

(1) 基本的事項

- ・ 生徒本人及び保護者の意向の尊重と強制しない部活動参加
- ・ 参加生徒の健康状態の把握と体調管理の徹底
- ・ 教師や部活動指導員が部活動実施状況を把握
- ・ 統括団体(全国連盟・協会等)が作成するガイドラインを踏まえた部活動の実施

(2) 活動に当たっての留意事項

- ・ 活動場所のこまめな換気や消毒等の感染拡大防止のための措置
- ・ 更衣室や部室の短時間の利用
- ・ 生徒の体調等を考慮し活動時間や休業日を適切に設定
- ・ 感染リスクの低減に配慮した、より短時間で効果的な活動
- ・ 地域の感染状況や競技特性等を踏まえ適切に判断し、十分な感染防止対策を講じた実施
- ・ 「県外へ移動しての活動」及び「県外の学校との活動」については、事前に遠征先の感染状況等を確認し、慎重に判断
- ・ 大会への参加は、感染状況等を考慮し必要性を各学校で判断、生徒の健康状態を把握し、事前保護者の同意の徹底
- ・ 部活動前後での集団での飲食を控えるなど、活動以外の場面も含めた感染防止対策の徹底

3 偏見や差別の防止

- ・ 「特別の教科(道徳)」をはじめとして、あらゆる教育活動において、機会を捉えて「いじめ」について考え話し合うことで、いじめの防止に向けた意識の啓発
- ・ 日頃からいじめを許さない学校の風土をつくるとともに、新型コロナウイルスの感染等による偏見や差別に限らず、すべてのいじめに対して「人間として絶対に許されない」という意識を一人ひとりの児童生徒に徹底
- ・ 細やかな観察や面談の実施等、児童生徒の発する小さなサインを見逃さないよう日頃から児童生徒の理解を徹底
- ・ いじめの可能性を察知した場合には、被害児童生徒の立場に寄り添い、迅速かつ丁寧に対応
- ・ 加害児童生徒に対しては毅然とした姿勢で対応
- ・ インターネットやSNSにおける悪ふざけや、誹謗中傷等を行わないよう、保護者への啓発も含め、繰り返し指導
- ・ スクールカウンセラー等と連携を図りながら、きめ細かな対応や心のサポート

震災の教訓を生かす

「いわての復興教育」を生かした取組

復興教育のねらいとの関連

東日本大震災津波で学んだ教訓を学校教育の中に生かし、その復興・発展を支える人材を育成するための3つの教育的価値【いきる・かかわる・そなえる】を育てること。

- ・ 新型コロナウイルス感染症について、知識・理解を深める。
- ・ 感染しないための考え方、適切な行動についての判断力、実践力を身に付ける。
- ・ 学校・家庭・地域が互いに知恵や力を出し合い、協力して困難を乗り越えてきたところであり、今後も同様に取り組んでいく。

33

Ⅲ 学校教育

GIGAスクール構想の加速

・コロナ禍における学びの保障等を目的に、学校等におけるICT環境整備は飛躍的に進展

県内公立学校ICT機器整備状況※1	R2. 3. 1	R4. 3. 1
PC1台当たりの児童生徒数	4.6人	0.9人
普通教室の無線LAN整備率	28.5%	92.6%
普通教室の大型提示装置整備率	27.1%	58.3%

・ICT環境の利活用については、全国と比較して低い状況

ICT活用状況		岩手県	全国
教員のICT活用指導力 (R3) ※1		69.0%	75.3%
1人1台端末の授業での活用状況(ほぼ毎日) (R5) ※2	小	39.8% R4 (22.7%)	65.2%
	中	54.4% R4 (30.7%)	62.6%

※1 学校における教育の情報化の実態等に関する調査 (文部科学省)

※2 全国学力・学習状況調査 (文部科学省)

体験活動等の減少の影響

・新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動等が減少による様々な影響が懸念

様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味があったと感じている児童生徒の割合 【具体的推進方策指標】	現状値 (H30)	R1	R2	R3
小学生	70%	72%	72%	69%
中学生	71%	71%	68%	65%
高校生	79%	77%	-	68%
体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合 【いわて幸福関連指標】	現状値 (H29)	R1	R2	R3
小学生 男子	73.6%	73.1%	-	68.9%
小学生 女子	82.9%	82.2%	-	79.1%
中学生 男子	77.7%	75.7%	-	74.8%
中学生 女子	91.3%	90.0%	-	88.8%

不登校児童生徒数等の増加

・いじめの認知件数、不登校児童生徒数は増加傾向

1,000人当たりのいじめの認知件数※3	R1	R2	R3
岩手県	64.1件	66.8件	67.4件
全国	46.5件	39.7件	47.7件

※3 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 (文部科学省)

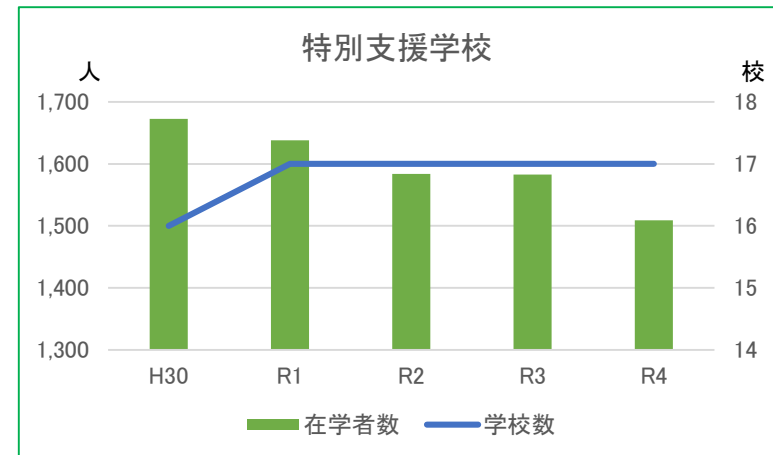
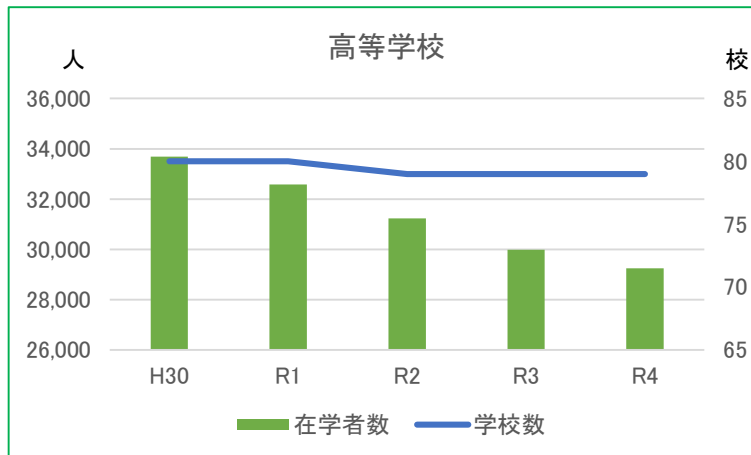
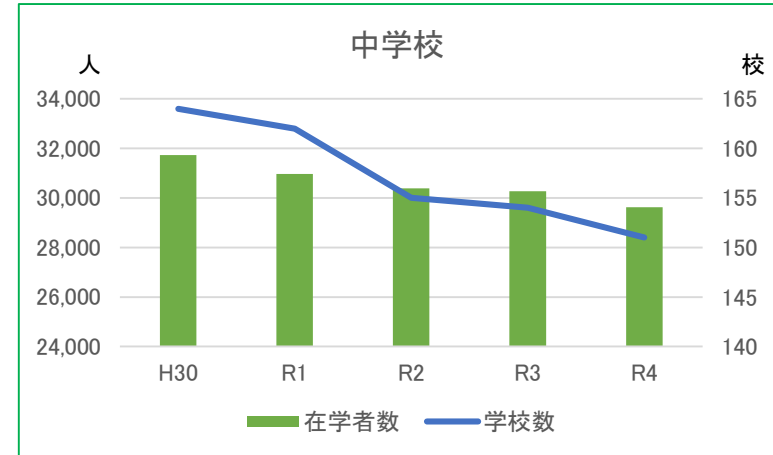
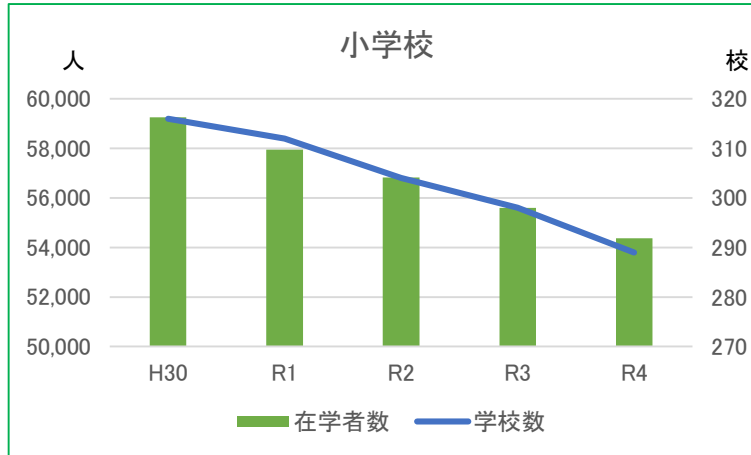
() 内は全国

1,000人当たりの不登校児童生徒数※3	R1	R2	R3
小学校	5.5人(8.3人)	6.2人(10.0人)	8.4人(13.0人)
中学校	30.7人(39.4人)	33.2人(40.9人)	39.6人(50.0人)
高等学校	15.9人(15.8人)	16.6人(13.9人)	19.8人(16.9人) ³⁴

Ⅲ 学校教育

児童生徒数の減少

- ・急速に進行する少子化の中で、本県の児童生徒数も減少傾向
- ・児童生徒数の減少に伴う教職員数の減少、学校が小規模校化する中での教育の質の確保が課題

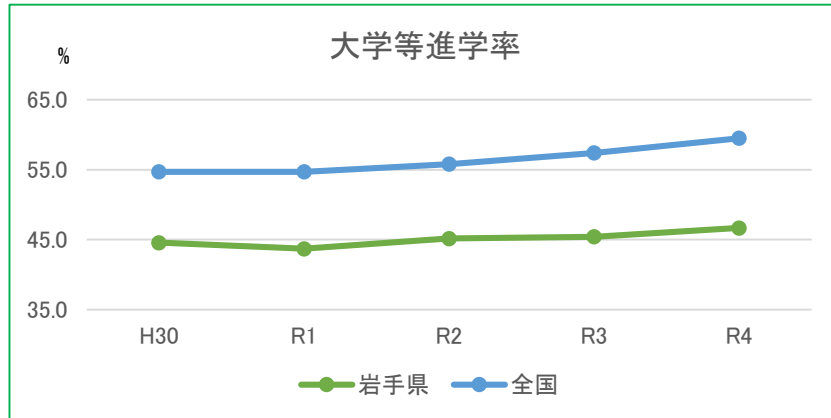


※ 学校基本統計（学校基本調査報告書）（岩手県ふるさと振興部調査統計課）
義務教育学校は除く。

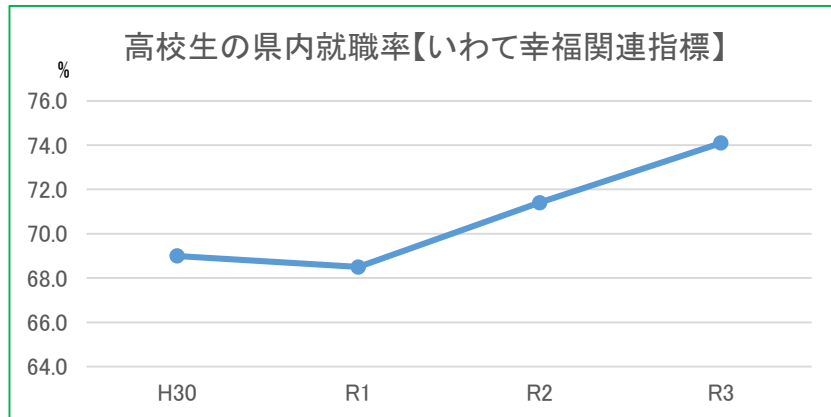
Ⅲ 学校教育

大学等進学と県内就職

- ・本県の大学等進学率は上昇しているものの、全国の大学等進学率と比較して低い状況
- ・県内高校生の県内就職率は、県内企業への理解促進や新型コロナウイルス感染症の影響による地元志向の高まりを背景に上昇傾向



※ 学校基本調査（文部科学省）



教職員の働き方改革と資質向上

- ・「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づく取組

時間外在校等時間	R2	R3	R4
月100時間以上の県立学校教員の割合	0.2%	0.2%	0.0%
月45時間超※	9.7%	8.3%	8.4%
年360時間超※	28.6%	22.8%	26.3%

※ 週休日の部活動指導従事時間を除く。岩手県教育委員会事務局教職員課調べ

- ・全国的に教職を志す学生の減少が課題であり、本県も同様

公立学校教員採用選考 採用倍率	R1 (H30実施)	R2 (R1実施)	R3 (R2実施)	R4 (R3実施)
小学校	2.9(2.8)	2.7(2.7)	2.3(2.6)	2.7(2.5)
中学校	4.4(5.7)	3.8(5.1)	3.7(4.4)	4.1(4.7)
高等学校	8.3(6.9)	8.2(6.1)	8.1(6.6)	6.6(5.4)

※ ()内は全国。公立学校教員採用選考試験の実施状況調査（文部科学省）

- ・免許更新制の発展的な解消に伴い、「校長及び教員の資質の向上に関する指標」を整理(R5.3)

本県独自の「授業力向上研修」の理念を継承し、学び続ける教師として教員が主体的に自らの資質向上を図る「ステージアップ研修」等研修体系を整理(R5～)

IV 社会教育・家庭教育

地域学校協働活動・教育振興運動の推進

・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域学校協働活動は減少

	現状値 (H30)	R1	R2	R3
教育振興運動として計画的に取り組み ている地域活動件数【具体的推進方策指 標】	4,224件	4,408件	3,411件	3,429件

・コミュニティ・スクールの導入は進んでいるが、保護者や地域などへの周知が課題

コミュニティ・スクール設置（累計）	現状値 (H30)	R1	R2	R3
市町村数【具体的推進方策指標】	6市町村	6市町村	11市町村	17市町村
学校数（市町村立小中義務教育学校）※	30校	34校	60校	92校
学校数（県立学校）※	-	-	1校	8校

※ 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課調べ

体験活動等の減少

・新型コロナウイルス感染症による休館・休所の影響で、県立社会教育施設の利用者は減少

入館者数	H30	R1	R2	R3
県立博物館	47,883人	47,239人	22,499人	28,292人
県立美術館	57,748人	382,433人	43,271人	69,526人

※ 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課調べ

	現状値 (H29)	R1	R2	R3
県立社会教育施設で 「岩手」をテーマと した講座の受講者数 【具体的推進方策指 標】	850人	1,020人	623人	678人

岩手の教育をめぐる状況

V 参考資料

1 いわて県民計画(2019～2028)第1期政策推進プラン 幸福関連指標一覧表(学校教育関係)

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.9	82.1	-	82.5
	%	中 ㊦ 77.2	78.4	-	85.4
授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.7	78.9	-	83.0
	%	中 ㊦ 80.0	77.8	-	83.5
人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦ 66	69	69	68
	%	中 ㊦ 64	65	68	67
	%	高 ㊦ 57	49	-	62
自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦ 82.3	80.5	-	76.4
	%	中 ㊦ 76.9	72.6	-	76.2

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男 73.6	73.1	-	68.9
	%	小 女 82.9	82.2	-	79.1
	%	中 男 77.7	75.7	-	74.8
	%	中 女 91.3	90.0	-	88.8
特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	62.0	60.8	63.0
高卒者の県内就職率	%	65.8	68.5	71.4	74.1
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 86.5	84.6	-	82.1
	%	中 ㊦ 73.2	73.1	-	72.8

2 いわて県民計画(2019～2028)第1期政策推進プラン 幸福関連指標一覧表(社会教育・家庭教育関係)

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	42.7	44.0	46.1

指標名	単位	現状値 (H29)	実績値		
			R1	R2	R3
国、県指定文化財件数	件	㊦ 565	568	572	574 38